

2011年3月期 決算説明会

2011年5月20日
株式会社コンテック

この度の東日本大震災により
被災されました多くの方々に対し
心よりお見舞い申し上げます。

被災された皆様の一日も早い復旧・
復興を心よりお祈り申し上げます。

- 1. 2011年3月期 業績(連結)**
- 2. 2012年3月期事業計画(連結)**
- 3. 電子機器事業の市場規模**
- 4. 事業別の戦略**

1.

2011年3月期 業績(連結)

1-1. 2011年3月期 損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	2011年3月期	前 年 同 期	増 減 額
売 上 高	15,665	11,071	4,594
営 業 利 益 又は 損 失(△)	632	△311	943
経 常 利 益 又は 損 失(△)	584	△372	956
当 期 純 利 益 又は 損 失(△)	428	△177	605
1株当たり 当期純利益又は損失(△)	129円	△53円	

1-2. 報告セグメントの業績

(単位:百万円)

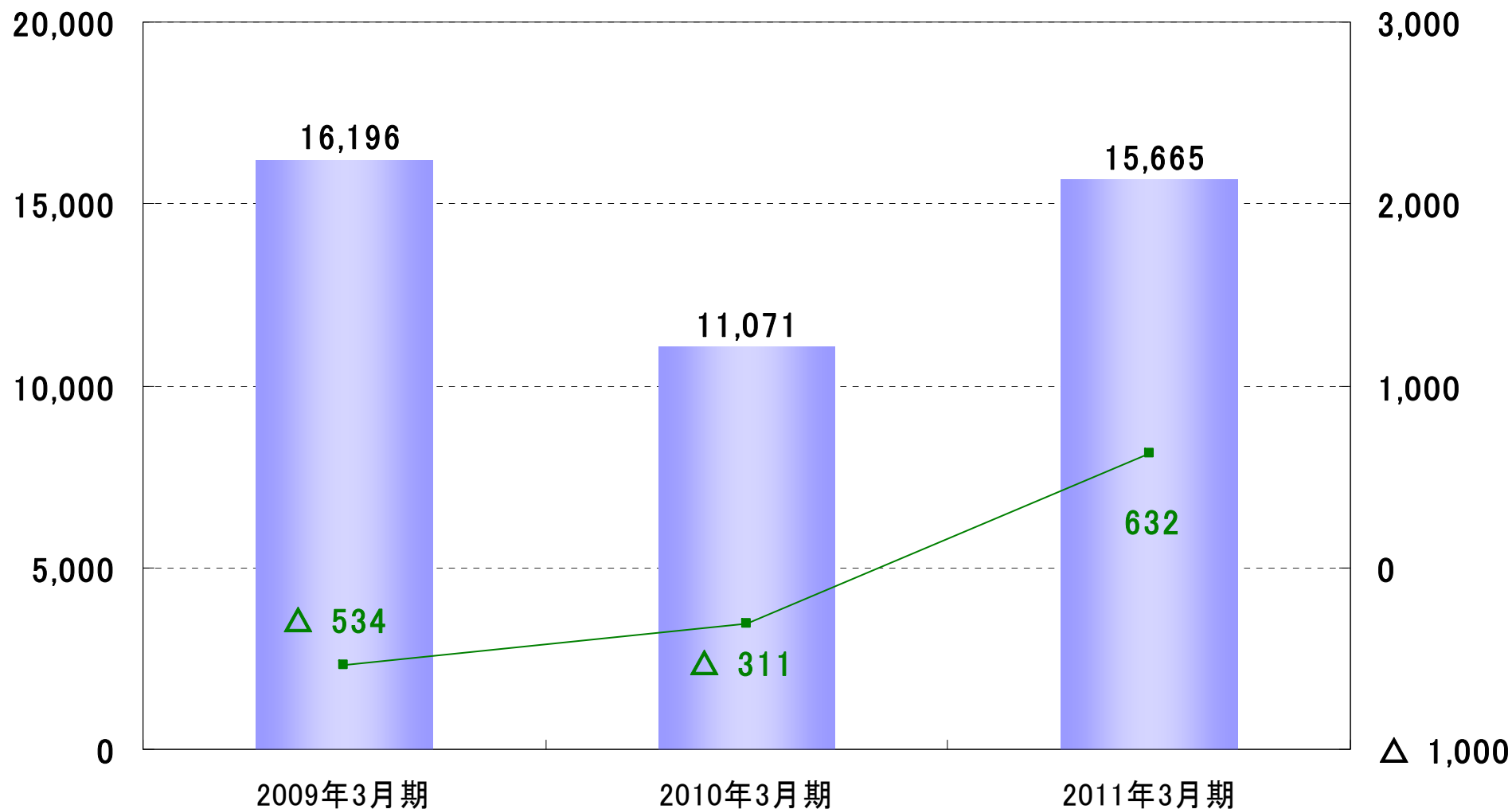
	売 上 高		営 業 利 益	
	(2011年3月期)	(前年同期)	(2011年3月期)	(前年同期)
電子機器事業	8,363	—	224	—
E M S 事 業	7,302	—	415	—
連 結 調 整 等	—	—	△ 8	—
合 計	15,665	11,071	632	△311

*2011年3月期より、報告セグメントを変更したため、前年同期の実績値は表示していません。

1-3. 業績推移(連結)

売上高
(単位:百万円)

営業利益
(単位:百万円)



1-4. 2011年3月期 貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

科 目	2011年3月期末	前会計年度末	増 減 額
資 産 の 部			
流動資産	10,092	8,809	1,282
固定資産	3,381	3,322	58
資産合計	13,473	12,132	1,341
負 債 の 部			
流動負債	6,856	5,120	1,736
固定負債	1,345	2,030	△684
負債合計	8,202	7,150	1,051
純 資 産 の 部			
株主資本	5,446	5,117	329
その他の 包括利益累計額	△191	△154	△37
少数株主持分	16	19	△2
純資産合計	5,271	4,982	289
負債純資産合計	13,473	12,132	1,341

1-5. 2011年3月期 キャッシュフロー(連結)

2011年3月期末における現金及び現金同等物

2,420百万円(前連結会計年度末比189百万円の減少)

■営業活動によるキャッシュ・フロー

59百万円の収入超過
(前年同期は54百万円の収入超過)

■投資活動によるキャッシュ・フロー

116百万円の支出超過
(前年同期は440百万円の収入超過)

■財務活動等によるキャッシュ・フロー

132百万円の支出超過
(前年同期は131百万円の支出超過)

2012年3月期の事業計画 (連結)

2-1. 2012年3月期事業計画(基本方針)

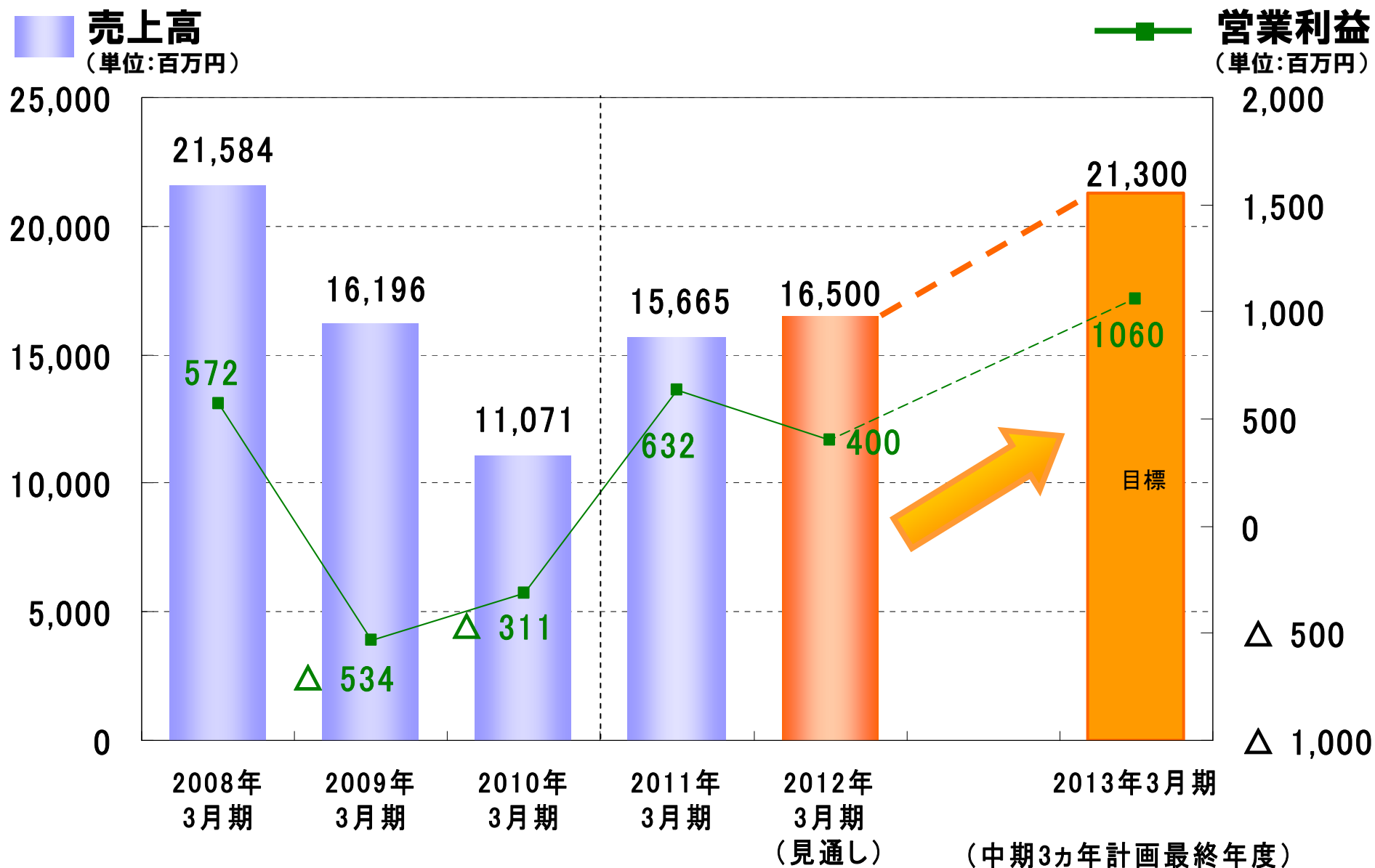
- 1.事業体制の変革で成長分野を深耕**
- 2.海外市場の売上拡大**
- 3.技術・開発体制の強化**
- 4.グローバル価格・納期の実現**
- 5.新規事業の開発推進**

2-2. 2012年3月期 通期業績見通し(連結)

(単位:百万円)

	2012年3月期 見 通 し	2011年3月期 実 績	増 減 額
売 上 高	16,500	15,665	834
営 業 利 益	400	632	△232
経 常 利 益	360	584	△224
当期純利益	250	428	△178
1株当たり 当期純利益	75円	129円	

2-3. 売上高・営業利益の推移と目標(連結)



3. 電子機器事業の市場規模

市場規模 約4,000億円 ⇒ 将来は約4,500億円まで拡大

現在

ヨーロッパ地域 1,000億円

日本 700億円

アジア地域 1,000億円
(内、中国 500億円)

アメリカ地域 1,300億円

中国市場が
拡大中

中期計画最終年度

ヨーロッパ地域 1,000億円

日本 700億円

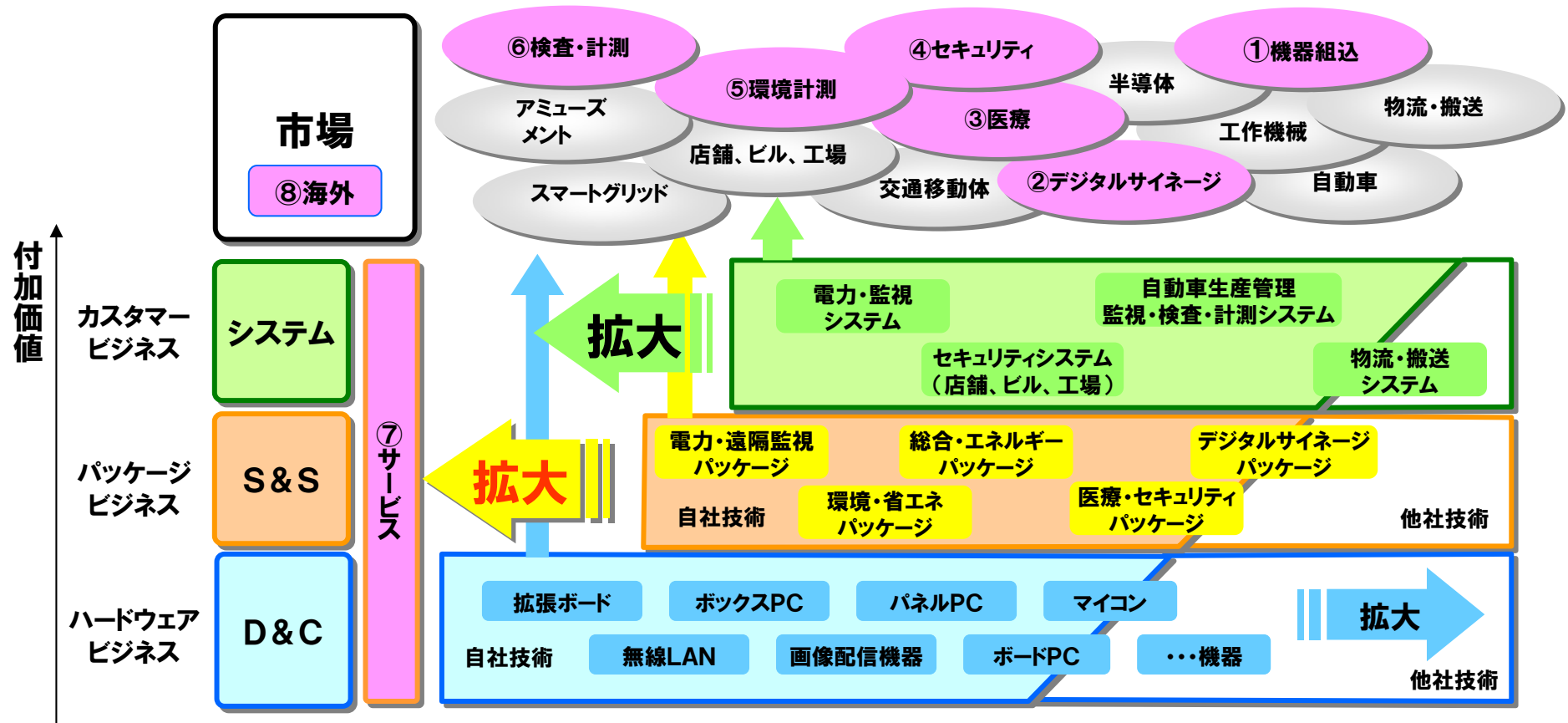
アメリカ地域 1,300億円

アジア地域 1,500億円
(内、中国 1,000億円)

4. 事業別の戦略

1. 電子機器事業

- ハードウェアビジネス : D & C製品を各市場に対して拡販する。
- パッケージビジネス : 機器とソフトウェアをパッケージ化し、ソリューションを市場に提供する。
- カスタマービジネス : 市場の顧客毎に個別システムを提供する。



4. 事業別の戦略

2. EMS事業

高信頼性を確保しつつ、グローバル市場で要求される「価格と納期」を実現し、事業範囲を拡大する。

- 物流システム周辺装置
- 電子機器の組立業務
- 基板実装



電子機器事業・EMS事業の拡大を目指した新規事業開発

- ① 制御開発本部を設置し、ダイフク向けのCPUボード、非接触給電システム機器及び制御機器の更なる開発とコストダウンを推進する。
- ② 非接触給電技術及び制御機器技術を用いた製品の開発とその外販事業を展開する。
- ③ 「新市場・新技術」を対象に「新たな事業領域」を目指し、エネルギー分野の新規事業を開発する。



この資料には、当社の現在の計画や業績の見通しなどが含まれております。それらの計画や見通しなどは、現在当社が入手可能な情報を元に計画、予測したものです。実際の業績などは、様々な条件の変化により異なった結果となることがあり、この資料は、それら計画や見通しなどの実現を保証したものではありません。

株式会社コンテック